

支援センターの得意とするリハ医療の分野に関する調査 調査結果の概要

問1 特に患者数の多い疾患・障害

医療圏	病院名	回答																
		1 脳卒中	2 外傷性能 損傷	3 脊髄損傷	4 関節リウマチ	5 骨関節疾患	6 小児疾患	7 神経筋疾患	8 切断	9 呼吸器疾患	10 循環器疾患	11 腎臓・内分泌疾患	12 がん	13 廃用症候群	14 高次脳機能障害	15 嚥下障害	16 認知症	17 その他
区中央部	慈恵医大附属病院																	
区南部	荏原病院																	
区西南部	JR東京総合病院																	
区西部	慶應義塾大学病院																	
区西北部	豊島病院																	
区東北部	柳原リハビリ テーション病院																	
区東部	東京都リハビリ テーション病院																	
西多摩	大久野病院																	
南多摩	永生病院																	
北多摩 西部	村山医療センター																	
北多摩 南部	武蔵野赤十字病院																	
北多摩 北部	多摩北部医療センター																	
計		12	4	2	1	8	0	5	0	3	0	0	1	7	6	8	1	0

問2 重点的に実施しているリハビリ

医療圏	病院名	対象疾患	内容	実施件数
区中央部	慈恵医大附属病院	外傷性脳機能障害による高次脳機能障害	外来にて。必要な場合はオレンジクラブ	50
		脳卒中後遺症(片麻痺、失語症)	入院にて。磁気刺激療法と集中リハ	4
		リンパ浮腫	外来にて。リンパドレナージ	30
区南部	荏原病院	脳卒中	SUを利用した急性期リハ	年間(H20)344件
		高次脳機能障害	評価・指導と地域リハ実施施設との連携	直近1か月 5~6件
区西南部	JR東京総合病院	切断	義手(筋電義手も含む)、義足作製	約20件/年
区西部	慶應義塾大学病院	脳卒中	運動麻痺回復のための先進治療、HANDs療法、BMI療法、義足療法	年間約50件
		がん	がん(含リンパ浮腫)に対するリハ	年間約1,200件
		COPD	COPDに対する運動療法	年間約20件
		脳卒中・ジストニア	筋緊張異常に対するブロック療法(含ボツリヌス毒素)	年間約50件
区西北部	豊島病院	脳卒中	急性期リハビリテーション	20年度 189人
			下肢装具療法	20年度 33人
区東北部	柳原リハビリテーション病院	身体障害全般	装具療法、テクノエイド支援(リフト等)	15件/月
区東部	東京都リハビリテーション病院	記載なし		
西多摩	大久野病院	脳卒中	理学、作業、言語聴覚等	81人(H22.2実績)
		高次脳機能障害	理学、作業、言語聴覚、地域生活支援等	26人
		神経筋疾患	理学、作業、言語聴覚、呼吸等	12人
		呼吸器疾患	理学、作業、言語聴覚、呼吸等	5人
		嚥下障害	VE・VF検査、言語聴覚、摂食機能等	57人
		廃用症候群	理学、作業	記載なし
南多摩	永生病院	主に脳血管疾患	シーティング(車椅子適合)	年間約100件
			IVES(随意運動介助型電気刺激)	21年度20件
			摂食嚥下障害へのリハビリアプローチ	628床中270名
北多摩西部	村山医療センター	脊髄損傷	体育療法など	69
		嚥下障害	摂食訓練など	46
		脳卒中	回復期リハ	21
北多摩南部	武蔵野赤十字病院	脳卒中	発症直後からの超急性期リハ(早期坐位、立位)、肺合併症に対する呼吸器リハ	約500件/年
		神経・筋疾患	急性増悪時の呼吸器リハ、早期ADL訓練	約100件/年
		骨・関節疾患	術後早期リハの実施、早期ADL獲得訓練	約700件/年
北多摩北部	多摩北部医療センター	脳卒中	t-PAを含む急性期リハ、パスを活用した地域医療機関等との連携	
		大腿骨頸部骨折	手術後のリハを行い、地域連携パスを用いた在宅復帰	
		腰部脊椎管狭窄症	高齢者に多い、歩行障害の原因となる症例に対し、手術を含めたリハ	

問3 得意とするリハ医療の分野・対象疾患

医療圏	病院名	回答																
		1 脳卒中	2 外傷性能損傷	3 脊髄損傷	4 関節リウマチ	5 骨関節疾患	6 小児疾患	7 神経筋疾患	8 切断	9 呼吸器疾患	10 循環器疾患	11 腎臓・内分泌疾患	12 がん	13 廃用症候群	14 高次脳機能障害	15 嚥下障害	16 認知症	17 その他
区中央部	慈恵医大附属病院																	
区南部	荏原病院																	
区西南部	JR東京総合病院																	
区西部	慶應義塾大学病院																	
区西北部	豊島病院																	
区東北部	柳原リハビリテーション病院	記載なし																
区東部	東京都リハビリテーション病院																	
西多摩	大久野病院																	
南多摩	永生病院																	
北多摩西部	村山医療センター																	
北多摩南部	武蔵野赤十字病院																	
北多摩北部	多摩北部医療センター																	
計		12	3	2	1	5	0	4	2	3	0	0	1	4	7	7	0	1

問4 講師として派遣できる職員

医療圏	病院名	職種	専門・資格	講師実績	派遣可能回数
区中央部	慈恵医大附属病院	記載なし			
区南部	荏原病院	記載なし			
区西南部	JR東京総合病院	医師	リハビリテーション科専門医	東大非常勤講師その他	3回
区西部	慶應義塾大学病院	医師	リハビリ科専門医	これまでに多数回	相談に応じる
		〃			
		〃			
区西北部	豊島病院	医師	リハビリテーション専門医	あり	1
区東北部	柳原リハビリテーション病院	記載なし			
区東部	東京都リハビリテーション病院	記載なし			
西多摩	大久野病院	看護師	認定呼吸療法士	呼吸リハビリ・看護技術研修会等	
		PT	マッサージ師、認定呼吸療法士	移乗動作・呼吸リハビリ研修会等	
南多摩	永生病院	ST		摂食嚥下障害のリハ、失語症について	年1～2回
		OT		シーティングコンサルタント、福祉用具プランナー	
北多摩西部	村山医療センター	記載なし			
北多摩南部	武蔵野赤十字病院	医師	リハビリテーション専門医	3回/年、各市	2～3回
北多摩北部	多摩北部医療センター	医師	・日本リハ医学会専門医・指導医 ・日本神経学会専門医・指導医	多摩小平保健所、立川在宅ケア研究会、東村山市歯科医師会 他	年2回程度、要相談
		ST	・摂食嚥下認定言語聴覚士 ・日本摂食嚥下リハ学会認定士		

問5 テキストの有無
 問6 テキスト作成の可否

医療圏	病院名	問5	問6
区中央部	慈恵医大附属病院	有	不可
区南部	荏原病院	無	可
区西南部	JR東京総合病院	無	可
区西部	慶應義塾大学病院	有	可
区西北部	豊島病院	無	不可
区東北部	柳原リハビリ テーション病院	無	
区東部	東京都リハビリ テーション病院	有	
西多摩	大久野病院	有	不可
南多摩	永生病院	有	不可
北多摩西部	村山医療センター	有	
北多摩南部	武蔵野赤十字病院	無	可
北多摩北部	多摩北部医療センター	有	可
「有」「可」の合計		7	5

問7 特に効果があったと感じた研修

医療圏	病院名	名称	形態	対象職種	理由
区中央部	慈恵医大附属病院	出前講座	講演	一般・高齢者	アンケートで参考になったとの回答有
区南部	荏原病院	地域リハ従事者懇談会	講演	医師,PT,OT,STなど	予想以上の参加者があったため 毎回一定の参加者があるため
		地域リハ講演会:高次脳機能障害に関して	講演		
区西南部	JR東京総合病院	リハマップ作成	マップ作成	全職種	利用しての利用者の声
		PT・OT・STの会	グループワーク	PT,OT,ST	参加者からの御意見
区西部	慶應義塾大学病院	地域で役立つリハビリ	講演・実習	ケアマネージャー	少人数対象で、スタッフは2人に1人くらいの割合であり、ニーズに応じられたと感じた
区西北部	豊島病院	在宅リハビリを行うための医学的知識	講演	ヘルパー,ケアマネ,施設職員	専門的な話を聞く機会がなかなかないので、とても新鮮であるという意見が多かった
区東北部	柳原リハビリテーション病院	地域リハフォーラム	講演	リハ従事者,ケアマネ,相談職等	当事者・家族会の体験談、リハ従事者への期待などを直接聴く機会は少なく、参加者からも好評 職種によるアプローチ・考え方の違いを通じて学ぶことが好評、交流もできる 切れ目のない連携においてあまり理解されていない急性期病院の現実を知ることは、有意義だった
		事例検討会	グループワーク		
		地域リハフォーラム	パネルディスカッション		
区東部	東京都リハビリテーション病院	生活を支える高次脳機能リハ	講演	医療・歯科・介護従事者,一般市民等	アンケート結果から良好な反応を確認できたため 上記同様、実践を交えた講習を1日かけて実施し、毎回定員の倍近く人が集まるため
		摂食嚥下リハ研修会 初級編 上級編	講演・実習		
西多摩	大久野病院	呼吸リハ研修会	講演・実習	医療・歯科・介護従事者,一般市民等	介護・在宅にも呼吸療法必要な人が多く、スタッフが専門的知識・技術を習得したいとの声が多かった 患者・利用者にも身体的負担の少ない移乗は、介護者の負担軽減、本人のコンプライアンス向上に繋がる 研修等開催も少なく、参加申込からニーズの高さが伺われる 摂食嚥下障害の対応はチームアプローチを組むすべてのスタッフに理會して欲しく、多職種の参加がある 歯科医を中心としたアプローチは大変興味深いという感想が多かった 主に栄養・調理師を対象とした研修は殆どなく、考え方・技術について好評が多い
		移乗動作研修会	講演・実習		
		高次脳機能障害研修会	講演		
		摂食嚥下リハ研修会	講演		
		口腔ケア研修会	講演		
		楽食(調理実習)研修会	講演・実習		
南多摩	永生病院	南多摩リハビリスタッフ合同会議	連絡会・学術集会	PT,OT,ST(MSW,Dr,CM等)	多くの協力施設が参加し、支援事業を企画。学術集会是定例となり、一般の方も参加
		南多摩リハビリスタッフ学術集会	連絡会・学術集会		
		福祉用具適合講習会	講演・グループワーク	CM,PT,OT,行政	介護保健下では大変重要な項目であり、参加者の関心も高い
		動作介助法講習会	実習	介護福祉士,ケアワーカー,PT,OT,NS	基本動作・移乗動作に関わる多くの職種が参加、2年連続で150名の参加を得ている
北多摩西部	村山医療センター	地域リハ介護施設支援講座	実習	介護福祉士,ケアマネ,看護師	実技指導を重点に研修。マンツーマンの直接指導ですぐに活用でき大変よかったとの意見が多数
北多摩南部	武蔵野赤十字病院	神経・筋の基礎知識と痙縮の病態と治療	講演	北多摩南部医療圏PT,OT	地域のPT,OTが多数参加、痙縮に対する関心の高さが伺われた
		脳卒中症例検討会	症例検討会	PT,OT,ST	在宅から急性期まで多くの職種の参加、活発な討議が行われた
		地域リハ勉強会(毎週木曜日)	文献抄読、症例検討	PT,OT,ST	急性期・回復期・老健のリハ職で毎週実施、転院する患者の検討を深く行えた
北多摩北部	多摩北部医療センター	高次脳機能障害ってなんだろう	講演	リハ従事者,当事者等	支援事業作業部会で作成したパンフにより、概略が簡単に理解できるようになった
		在宅医療を支えるリハ	講演	市民	パネルディスカッションによる意見交換
		呼吸機能の生理と病態	講演	リハ従事者等	実際の臨床現場での呼吸器管理や病態に応じたリハを確認できた
		中枢神経疾患に対するリハアプローチ	実習	リハ従事者等	実技中心で、スキルアップを図れた。定数を超えた参加応募があった
		嚥下障害の成り立ちと対応を考える	講演	リハ従事者等	在宅で患者を支援する方々の参加が多く、現実的な問題を学べた
		脳卒中の予防は日頃の生活から	講演	市民等	市民に脳卒中急性期治療を紹介できた。体験談を通じ、実際の地域資源活用をイメージできた
		高次脳機能障害に対する作業療法の実践	講演	リハ従事者等	地域在宅医療支援センターとして連携の実際、活用ノウハウを学べた
		気管切開と嚥下障害	講演	リハ従事者等	「気切患者は経口摂取不可」という思い込みを見直す機会となった
		高次脳機能障害の概論	講演	リハ従事者等	各種検査や特徴的な病態を知ること、実際の対応が適確にできることを学べた
		高次脳機能障害 どのように対応するか	講演	リハ従事者等	地域医療従事者の参加が多く、実践的なスキルアップ講習となった
		地域連携パスの現状	講演	リハ従事者等	パスの活用、実際の連携手法を学び、圏域内の医療連携について考察が進んだ
		地域包括支援センターの現状から地域連携のあり方を探る	事例検討会	リハ従事者等(CM,保健師,介護士等)	地域内資源の活用や医療連携について意見交換が進んだ
		高次脳機能講習会	実習	リハ従事者等	4回に渡り実習を行い、また事例紹介により貴重な意見交換ができた
脳卒中の治療とリハ及び予防について	講演	市民	市民向けにわかりやすい内容で講演した		
高次脳機能とその障害	講演	リハ従事者等	高次脳機能障害について、多岐にわたる内容を講演した		

